



と新制の傳言する者
 早く知る者あり
 早稲田出身者跡に
 此處あり位を止めたり
 リ支那人側にも書札
 王の常侍より戴き
 あり文部の方より
 林原より奉天の指
 宿衛門に陸軍興有
 何れか途の地は
 冷然あり聘せられたる教
 習連何れ貯蓄を
 一方に支那人の支
 分海軍人同士の交
 際も甚だしく
 為り張るは甚だ評判
 之満ちたるは道に解
 といひたれどもいふは
 半信半疑ありは
 在り支那人も交際
 にも好むを自ら人
 勢力を有し居る様
 受けし
 少空山跡の石の
 方面革命軍の醫部
 有之我軍艦を
 之れ少を革命軍を
 之運動しつゝある
 菅野長と申す回
 之の内情略開あり
 中々革命軍の目的
 之運動を遂げ
 軍隊を召集し
 の頭領を
 軍隊を散乱せし
 事
 成らん
 来り甘酒金
 同様に生かす
 様あり
 之れあり
 革命軍
 飯を食む
 革命軍
 之れあり

匹田銳金書簡 大隈重信宛
 明治40年8月1日
 早稲田大学図書館蔵/Waseda University Library I14-B301(1) -2

